



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル 上場取引所 東
コード番号 7345 URL <https://www.aipf.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 譲治
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 市川 由麻 (TEL) 045-329-7150
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,158	33.6	48	—	47	—	36	—
2026年3月期第1四半期	867	△5.9	△10	—	△9	—	△13	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 36百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	10.97	10.70
2026年3月期第1四半期	△4.25	—

(注) 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,232	742	60.3
2026年3月期	1,331	718	54.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 742百万円 2026年3月期 718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2027年3月期の期末配当金予想額につきましては、現時点で未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

当社グループの主たる事業である金融商品仲介業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、その業績予想を行うことは困難であるため記載しておりません。また同様の理由から、2027年3月期の配当予想額は未定であるため、記載しておりません。

なお、重要な経営指標である媒介する資産残高と所属IFA数は毎四半期末の翌月に開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	3,542,000株	2026年3月期	3,534,800株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	243,640株	2026年3月期	243,640株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	3,295,116株	2026年3月期1Q	3,270,918株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、連結業績予想を行うことが困難であるため記載しておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

決算補足説明資料は、本日TDnetで開示しております。あわせて、当社ウェブサイトに掲載しております。
また、決算説明動画は2026年8月21日 (金) にIRTVウェブサイト (<https://irtv.jp/>) に掲載、その後、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、地政学的リスクによる原材料価格高騰への懸念はあったものの、雇用・所得環境の改善や底堅い内需を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。

国内株式市場は、中東情勢への警戒感後退やAI関連銘柄への活発な資金流入、好調な企業業績を背景に力強く上昇しました。4月27日には日経平均株価が史上初の6万円台を突破し、6月16日には一時7万円の大台に乗せました。当第1四半期末の日経平均株価は70,062円32銭（前年度末比37.2%上昇）と大幅な上昇となりました。

米国株式市場もインフレ警戒感の和らぎからNYダウが史上最高値を更新し、当第1四半期末は52,319.20ドル（同12.9%上昇）と堅調に推移しました。

債券市場では、利上げ観測などを背景に長期金利は上昇傾向となりました。外国為替市場では円安ドル高がさらに進行し、当第1四半期末は1ドル＝162円56銭（前年度末比3円81銭の円安）となりました。

このような活発な投資環境のもと、政府の「資産運用立国実現プラン」の追い風も受け、当社の当第1四半期末における媒介する資産残高は478,343百万円（前年同四半期比27.8%増加）となり、過去最高を更新いたしました。

当社グループでは、この良好な市場環境を確実に取り込むべく、同プランに沿った成長戦略を引き続き推進してまいります。具体的には、「顧客の最善の利益に資するIFA」から選ばれる金融商品仲介者としての更なる質の向上を目指し、「媒介する資産残高」の増大による持続的な成長と企業価値の向上を目的として、以下に注力してまいります。

- ① 「顧客の最善の利益」に資する販売・管理態勢を構築するため、コーポレートガバナンス及び内部統制の更なる整備・強化を図る。
- ② IFAが顧客の最善の利益を追求できるよう、顧客管理ツール及び営業ツールの充実を図り、アドバイスの質の向上を支援する。
- ③ 「顧客の最善の利益に資するIFA」増員に向けたフォローアップ体制を強化する。
- ④ 顧客の最善の利益を追求しつつ、高い顧客納得感と適正な手数料獲得の両立を目指し、IFAサポートを強化する。
- ⑤ 顧客の最善の利益の実践に注力できる環境を整えるべく、AI技術を積極的に導入し、定型業務や管理業務の効率化を推進する。
- ⑥ 「顧客の人生に伴走するIFA」に選ばれる金融商品仲介者として進化するため、業種を問わず相乗効果が期待できる業務提携、及び必要に応じたM&Aを実施する。

特に、包括的業務提携先の大手保険代理店・株式会社エフケイ（以下「エフケイ社」という）とは、両社の相乗効果の創出などを見据えつつ、継続的な協議を進めております。具体的には、2026年6月開催の当社第21回定時株主総会において、エフケイ社代表取締役社長杉原繁樹氏が当社の社外取締役に就任したほか、2026年8月中には当社代表取締役社長である田中譲治が同社の社外取締役に就任する予定であり、役員相互派遣を通じた協力関係の更なる緊密化を図ってまいります。また、株式会社AIPコンサルティングの保険代理店事業につきましては経営資源を中核事業へ集中させるため、2026年3月末をもって新規の保険募集の取り扱いを停止し、2026年6月末をもって保険代理店業を廃業いたしました。引き続き保険募集業務を希望するIFAについては、包括的業務提携を結んでいるエフケイ社を中心とした他の保険代理店への移籍及び契約の引継ぎが当第1四半期連結累計期間中に完了しております。これにより、顧客へのサービス品質を維持しつつ、グループの効率化が大きく進展しております。

今後も、IFA業界のリーディングカンパニーとしての当社の責務を果たし、IFA業界の健全な発展に貢献するよう尽力してまいります。

媒介する資産残高（AUM）、所属IFA数の各四半期末の推移につきましては以下のとおりです。

	2026年3月期				2027年 3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
媒介する資産残高（AUM） （百万円）	374,399	402,521	430,200	429,738	478,343
前年同四半期比（%）	112.2	124.0	119.9	123.9	127.8
所属IFA数（名）	212	215	216	214	216
前年同四半期比（%）	106.0	104.9	104.9	101.4	101.9

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,158,446千円（前年同四半期比33.6%増、291,242千円増）、営業利益48,524千円（前年同四半期は営業損失10,010千円）、経常利益47,731千円（前年同四半期は経常損失9,936千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益36,138千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失13,894千円）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態については次のとおりであります。

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ91,348千円減少し、1,082,086千円となりました。これは主に、売掛金が95,562千円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,216千円減少し、150,488千円となりました。これは主に、有形固定資産が2,005千円減少したこと、投資その他の資産の繰延税金資産が4,917千円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は1,232,574千円となり、前連結会計年度末に比べ98,565千円減少いたしました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ122,621千円減少し、489,590千円となりました。これは主に、買掛金が88,427千円、未払法人税等が22,098千円、賞与引当金が7,366千円、流動負債その他の未払消費税等が10,368千円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ24,055千円増加し、742,984千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益36,138千円を計上した一方で、配当金の支払い13,164千円があったことにより利益剰余金が22,973千円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主たる事業である金融商品仲介業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、その業績予想を行うことは極めて困難であるため記載しておりません。これに代えて、重要な経営指標である媒介する資産残高（AUM）と所属IFA数は毎四半期末の翌月に開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	597,286	597,291
売掛金	536,961	441,398
その他	39,186	43,396
流動資産合計	1,173,434	1,082,086
固定資産		
有形固定資産	32,496	30,490
無形固定資産	905	769
投資その他の資産		
差入保証金	103,378	105,306
繰延税金資産	7,762	2,844
その他	13,163	11,077
投資その他の資産合計	124,303	119,228
固定資産合計	157,705	150,488
資産合計	1,331,139	1,232,574

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	460,027	371,599
未払法人税等	31,489	9,391
賞与引当金	13,823	6,457
資産除去債務	—	2,910
その他	61,426	57,991
流動負債合計	566,767	448,350
固定負債		
資産除去債務	41,954	39,056
その他	3,489	2,183
固定負債合計	45,444	41,239
負債合計	612,211	489,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	342,145	342,686
資本剰余金	271,340	271,881
利益剰余金	235,136	258,109
自己株式	△129,693	△129,693
株主資本合計	718,928	742,984
純資産合計	718,928	742,984
負債純資産合計	1,331,139	1,232,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	867,203	1,158,446
売上原価	688,814	932,623
売上総利益	178,389	225,822
販売費及び一般管理費	188,400	177,297
営業利益又は営業損失(△)	△10,010	48,524
営業外収益		
受取利息	—	131
受取家賃	84	466
雑収入	63	75
その他	—	59
営業外収益合計	147	733
営業外費用		
支払利息	43	16
株式交付費	30	30
株式報酬費用消滅損	—	1,480
営業外費用合計	73	1,526
経常利益又は経常損失(△)	△9,936	47,731
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,936	47,731
法人税、住民税及び事業税	1,585	6,675
法人税等調整額	2,372	4,917
法人税等合計	3,958	11,593
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,894	36,138
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,894	36,138

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,894	36,138
四半期包括利益	△13,894	36,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,894	36,138
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、IFAによる金融サービス提供事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,756千円	3,454千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。